

氏 名 池 島 徳 大

所 属 ・ 職 名 附属教育実践総合センター・助教授

研究室電話番号 0742-27-9310
(ダイヤルイン・FAX 兼用)

電子メールアドレス ikejima@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程学校教育実践学専攻
単位取得退学，教育学修士（兵庫教育大学 1983）

所 属 学 会 等 日本心理臨床学会，日本カウンセリング学会，日本教育心理学会，
日本特別活動学会，日本学校教育相談学会，日本ピアサポート学会

専 門 分 野 学校教育臨床・生徒指導・特別活動



研究と教育について

これまで、いじめ問題の解決及び人間関係形成能力の育成へのアプローチについて実践学的に検討してきた。現在は、いじめやもめごとなど対立問題への積極的介入策として、カナダやアメリカ、イギリスの学校で注目されているピアサポートプログラムのわが国への導入について、学校教育臨床の視点から検討し、さらに日本版「対立解消プログラム」の構築を目指している。

現在、教員には、不登校をはじめいじめなどの対人関係上の問題に対し、的確に対応できる教育専門職としての力量が求められています。その力量を高めるためには、生徒指導に関する理論研究と実践的な臨床研究は不可欠ですが、そのアプローチの方法として、第三者的な「三人称的アプローチ」ではなく、「二人称的アプローチ」の視点が極めて大切です。問題を、他人事とせず、常に「我がこと」として追求して行く姿勢で、講義・演習を行っていきたいと考えています。

主な研究業績

- ・池島徳大（1997）「クラス担任によるいじめ解決への教育的支援」日本教育新聞社 全 203 頁
- ・池島徳大他（2001）「不登校に関する実態調査 - 平成 5 年度不登校追跡調査報告書 - 」文部科学省委託研究 現代教育研究会
- ・池島徳大（2005）「望ましい人間関係を育むピアサポートプログラムの学級活動への試行的導入とその効果」日本特別活動学会紀要 第 13 号 p32-42
- ・池島徳大（2005）「ADHD 児童をめぐる教育的支援事例 - 二次的問題の発生の阻止と環境調整を介入目標として - 」学校教育相談研究 第 15 号 p44-53
- ・池島徳大他（2005）「人間関係形成能力を高める対立解消プログラムの学級への導入とその展開」奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要 No14 pp133-139

主な授業担当科目

学校教育相談特論(大学院)，学校教育相談演習(大学院)，生徒指導（教職科目），心理学概論，学級集団心理学演習

学 会 活 動 日本特別活動学会理事，日本ピア・サポート学会理事，日本学校教育相談学会中央研修委員

社 会 的 活 動 奈良県立教育研究所スクールカウンセリング・カウンセラー 奈良学校教育相談研究会顧問

講 演 の テ ー マ 「いじめ・不登校問題への理解と対応」，「いじめ・もめごとなど子ども同士の対立問題への介入とその方法」，「ピア・サポート活動の導入とその実際」